

事業提案書要約（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア
2. 事業名	カンボジア・トンレサップ湖における水上集落住民参画型プラスチック汚染対策事業
3. 事業の背景と必要性	約 34 万人の人口を有するカンボジア・トンレサップ湖の水上集落では、自治体によるごみ収集サービスが提供されておらず、ほとんどすべてのごみは習慣的に湖面へ投棄されている。住民がそれらを清掃することはなく、ごみと一緒に暮らしており、行政は係る対策を講じておらず、これを放置してきた。不法投棄されたプラスチックごみ（プラごみ）は、トンレサップ湖全体で 1 日約 10 トンに及ぶと推計され、これは地域に対する公衆衛生上の課題や魚業、観光業などへの経済上の影響が懸念される。また、これら不法投棄されたプラごみは、接続するメコン川への流出を経て、下流域全体へのプラスチック汚染や海洋プラスチックごみとなるリスクも含んでおり、喫緊の課題となっている。
4. プロジェクト目標	トンレサップ湖の住民によるプラスチックごみの投棄行動が改善する。
5. 対象地域	コンポントム州およびコンポンチュナン州にまたがる湖尻部
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	在カンボジア日本国大使館、在シェムリアップ日本国領事事務所
7. 本事業の対象となる人々	王立プノンペン大学（Royal University of Phnom Penh）をカウンターパートとして、コンポンチュナン州（有価物回収事業者等の民間セクター等）及びコンポントム州（パッサンダイ集落のコミュニティグループ等）の関係者
8. 事業活動	<活動> アウトプット1：住民主体によるプラごみ啓発活動や啓発イベントを実施する能力が向上する（プラごみ対策チームの設置、ベースライン調査の実施、プラごみに対する啓発活動・イベントの実施等） アウトプット2：住民主体によるプラごみ回収システムの基盤が構築される。（ベースライン調査の実施、住民によるプラごみ回収のためのパイロットプロジェクトの実施等）
9. 実施期間	（西暦）2022 年 3 月～2024 年 4 月（2 年 1 ヶ月）
10. 事業費概算額	10,572 千円
11. 事業の実施体制	実施団体：岡山大学学術研究院環境生命科学学域（工）藤原研究室 カウンターパート：王立プノンペン大学（Prof. Yim Mongtoeun 研究室）
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	岡山大学学術研究院環境生命科学学域（工）藤原研究室
2. 活動内容	国内外の廃棄物管理、循環型社会、循環経済等に係る教育・研究機関として活動している。王立プノンペン大学と協働し、トンレサップ湖地域に活動拠点を有するほか、SATREPS 事業である「アジア地域における低炭素シナリオの開発（代表：京都大学松岡譲教授）」への参画や科学技術振興機構が実施する「さくらサイエンスプラン」を通じて東南アジア・太平洋島嶼国の学生を多く受け入れている。

（注：A4 用紙 1 枚以内にまとめてください）